

我が家のシジミ ～シジミから教わったこと～

2012.11.23
京北スーパー 相談役
石戸 孝行

私が生まれた当時は、手賀沼のマシジミは豊富に採れて、食卓に

都市化の波が手賀沼の水質を悪化させた

北千葉導水路事業・北千葉導水路の心配ごと

手賀沼・行政の取り組み・運動の難しさ・挫折

絶滅寸前、手賀沼のシジミ

我が家のシジミ環境・手賀沼にマシジミ生息を公表、官公庁を動かす

自宅のシジミ

15年以上もかかってマシジミは、池の環境になじんで、自然に子供が増えてくるようになった。成功したコツは、「コイやフナ、クレソン、セリなどと共生の出来る環境」を整えたことにある。

生まれたシジミの口に入る大きさ(0.5ミクロンのプランクトン)の餌をどう作るかが鍵となる。

永い年月のバランスの中でシジミが定着してきた訳だから、人間が勝手にその環境を変えることは、また取り戻すために永い年月を要する。シジミはこの環境が嫌だと思っても簡単に移動できない。工事など、環境に変化を与えるような時は慎重に行わなければならない。環境のことを無視して、私たちは、美味しい食べ物には出会えない。